

池の水の御詠歌

松 濤 基 作 曲
高倉 美代子 振 付

唱え奉る池の水の		静かに合掌
御詠歌に		右手で扇をとり左手をそえて左足をくずして静かに立ち 両手ももにつける
歌	手	足
い	左手で袖口を軽くもって両肘をやや張る如く	
	する(構えの姿勢)	
け		右足一步前
		左足を揃える
		左足一步前
		右足を揃える
の	右手を斜右前方肩の高さに上げながら	右足斜右に一步出し
	(扇水平)	
	左手袖をもったまま前方肩の高さに上げる	左足を右足の方に一步出し同時に
み	同時に右手は下げ構える	両膝を少しまげる
ず	左手を斜左前方肩の高さに上げ	左足を斜左前に一步出し
	右手を前方肩の高さに上げ(扇水平)	右足を左足の方に一步出し
	左手をおろし構える	同時に両膝を少しまげる
ひ	右手おろしながら	右足を引き斜右向きになり
		腰をおろす
	扇の一方を開き、扇を開く準備をする	
と	右手で扇の一端をもって振って一挙に	そのまま
	扇を開き	
の	扇の表を正面に向ける如く右手を斜右上に	
	かざし	

歌	手	足
こ	右手を横、下の順におろして体前にて	そのまま
	一回扇をまわし表を正面に向けて保持す	
こ	右手を動かし始めると同時に左手を上、横、	そのまま
	下の順にまわしながら体前に片手合掌して	
	扇と体との間に保つ	
ろ	左手そのまま右手扇を少し下げる(左手の指	そのまま
	が見える程度)	
に	両手を左右におろし構える	静かに立って正面に向きながら左足をひいて
		右足に揃える
(休)		
に	右手にて扇の要を返して扇の一端をもって	
た	左肩の前にもって行く 左手は左肩の横で	左足を一步引き
り	扇を支える様にする	両膝を少しまげる
け		
り	扇を左手にもちかえて右肩の前にもって行き	右足を一步引き
	つつ右手にて扇を支える様にする	両膝を少しまげる

歌	手	足
に	扇の両端を両手でもって(扇の要、下)	左足を左に一步出し
た	体の左側にもって行き	
り		右足を左足の前に出し両膝をまげる
け		同時に顔を正面に向ける
り	扇を体の右側にもって行く	右足を右に一步出し
｜		
｜		左足を右足の前に出して両膝をまげると同時
(休)		に顔を正面に向ける
に	右手扇を持ち両手ですくう様に上にあげ左手	右足より三步斜右の方向に前進し
｜	掌と右手の扇の表が向い合う	
｜	上にあげた両手を二回あおぐ様にする	右足より四歩後退する
｜		
ご	両手掌を下にして(右手扇をもったまま)	腰をおとして左足を右足の前に出し右にくるり
｜	左横に伸し	まわって正面を向く
｜		
り		
す	両手を胸の前で交差させて	左足一步前に出し両踵の上にかかるく腰をおろ
｜		す(上体やや前にかける)
む	静かに開き	
｜		
こ	顔はやや前方下を見る	
｜		
と		
｜		

歌	手	足
さ	左手で右たもとを軽くもち右手の扇の一端で	立って右足を一步前に出し体重を右足に移し
だ	指す如く夫々顔をそえながら斜左前、	
	正面、	
め	斜右前と三回動かす	
な	右手掌を下にし扇を保って斜左前に伸し、	右足を一步引き左足を右足にかけて右にまわ
	(左手は右のたもとをもったまま)	って正面を向き
け		
れ		
ば		右足を一步引き
	両手で扇を捧げる	右膝をついて腰をおろす
(休)		
(休)		
(休)		

最後の「スズ」がすんで静かに座りながら体の右側で扇を閉じ一度構えてから
正面において合掌する

ポイント注意

【いーーー】 袖口の持ち方。くすり指と小指で軽くもってください。

【にたりけりー】 全体の動きに注意して舞ってください。